

技術確認圃 報告書 記入例(畑作・冬作・野菜・花き除草剤2)

薬剤名 ○○○水和剤
 県名 ●●県

作物 キャベツ
 実施場所 ○○普及センター(○○市)

圃場/面積	作型	土質土性	品種	耕起日	播種日	定植日	備考
確認圃 10a	露地栽培	埴壤土	□□□□	20○○年5月14日	—	20○○年5月15日	
慣行 10a	露地栽培	埴壤土	□□□□	20○○年5月14日	—	20○○年5月15日	

圃場(面積)	処理回数	薬剤名 薬量(水量)(/10a)	処理日	処理方法、 処理時土壌の乾湿	作物生育程度	処理時の状況 雑草発生(雑草名・草丈・葉齢・発生程度)
確認圃	処理1回目	○○○水和剤 300g(100L)	5月15日	動力噴霧器(定植後、全面処理) 適湿	2~3葉期	未発生
	処理2回目					
	処理3回目					
慣行	処理1回目	□□□乳剤 500mL(100L)	5月15日	動力噴霧器(定植後、全面処理) 適湿	2~3葉期	未発生
	処理2回目					
	処理3回目					

処理時土壌の乾湿:
 乾・やや乾・適湿・湿 の4区分

乾物重、生体重のいずれかを記入。

処理後の日数を記入。

圃場	除草効果 (残草量g/m ²) 生体重						雑草調査日: 6月20日 (処理36日後)		薬害		評点
	イネ科一年生		広葉一年生		多年生雑草		総計 下段()は慣行区比	症状・程度	収量比 対慣行		
確認圃	0.5		2	0						4.3 (93%)	なし
慣行	0.3			(16)							
備考	無処理区での発生雑草(発生程度): メヒシバ、シロザ、スベリヒユ、イヌタテ、ハキタメギ 処理時の状況及び所感(特記事項等含む): 散布準備時間: ○分、散布時間: ○分、散布人数: ○人 農家のコメント: 確認圃は、前年度に雑草が多く残草し、慣行圃場であったが除草効果は良好であった。										

適用登録外の草種でも、発生が目立つ場合は()で記入する。総計には含めない。

上段: 残草量
 下段: 慣行区比

・処理時の情報(散布時間、作業人数、農家のコメントなど)があれば記入する。
 (注)散布準備時間、散布時間を記載する場合は確認圃で実際にかかった時間を記入し、10a当たりなどに換算している場合は、○/10aのように記入する。
 評点が「-」の場合、その理由を記入する。
 残草が多い場合、問題となる薬害が発生した場合は詳細を記入する。
 気象条件、雑草発生状況等で通常と異なることがあれば記入する。